

住まい、暮らし、リアル・デジタル

# トータルブレインが選ぶ好調マンション

## 10年の“顔”「プラウドシティ池袋本町」など60物件



「好調60物件」の一部。  
 (左) 総合地所などの「ザ・ヒルトン・タワー高輪台」。駅直結の利便性、高台立地がシングル・DINKS層に響いた。(下右) 大京の「ザ・ライオンズ鷹花公園」。広大な公園に近接する立地とタワーゲート層に合わせた価格設定が好調要因。(下左) 野村不動産の「プラウドシティ池袋本町」。

トータルブレインが「2010年の好調マンション」として選んだ物件は60物件に上った(10面参照)。全体的に好調だった市況も手伝い、近年まれに見る数の物件数となった。

それを牽引したマンションの1つが、野村不動産の「プラウドシティ池袋本町」。09年11月にプロジェクト内容が公表された時は、そのスケール感や価格設定に対して



「果たして大丈夫か」といった声も多少聞かれたが「絶対調」の名をほしいままに7カ月程度で全

「果たして大丈夫か」といった声も多少聞かれたが「絶対調」の名をほしいままに7カ月程度で全

い状況はまた続いており、「本格的な市況回復」とはいえないが、明るい兆しを感じられる1年だったことに間違いはない。今年の11年は、どのようなふうに「噂」を出しているか、楽しみだ。